

China Management News

(KPMG 中国マネジメントニュース)

2018年2月

グレートベイエリア構想～成功のキードライバーを探る～（1）

まえがき

中国南部、いわゆる華南地域は今、エキサイティングな時代を迎えようとしています。それは、広東省、香港・マカオ地区全体に世界クラスの都市集合体を構築するという目標の下に、グレート・ベイ・エリア（GBA）構想という極めて野心的な計画があるからです。2030年までには、この地域が製造、イノベーション、輸送、貿易、金融の中心かつ最先端の役割を果たすようになると期待されています。

GBA構想は、華南地域の経済発展と重要性を証明するものです。2016年、この地域に属する11の主要都市のGDPの合計は1兆4,000億米ドルに達しました。11都市の人口は中国総人口の5%に過ぎないにもかかわらず、GDPは中国経済の12%を占めています。

地域の発展に伴い、その影響力は都市集合体の地理的境界を越えて広がり、中国の一带一路構想において重要な役割を果たすことになるでしょう。21世紀海のシルクロードの沿線諸国を結ぶ重要な結節点として機能するはずです。

本稿の目的は2つあります。1つはGBA開発が抱える重要な課題を取り上げ分析すること、もう1つはGBAの市場サーベイ結果を提供することです。本サーベイ結果は、この地域で企業を営む614名のエグゼクティブを対象とした調査から得られたものです。この調査はKPMGと香港総商会（HKGCC）、YouGovが共同で考案し、実施したものです。

この調査に加えて、KPMGとHKGCCは当地の企業に直接インタビューを行い、それぞれの意見をヒアリングしました。対象者には国営企業と民間企業だけでなく中小企業も含まれ、多様なバックグラウンドを代表しています。

情報を提供して下さった調査回答者の皆様と、本稿のためにヒアリングに快く応じて下さった経営者の皆様に、この場を借りて感謝の意を表します。GBAが持つ課題とビジネスチャンス、そして今後の発展を理解する上でこの調査結果が役立つことを願っています。

調査の概要

KPMGとHKGCCが共同でYouGovに委託し、調査結果をみると、企業はGBA構想を圧倒的に支持していることがわかりました。

この調査は2017年6月と7月の2ヶ月間で実施され、614名の経営者から回答を得ました。その内訳は香港（410名）、広州（91名）、深圳（82名）およびその他のGBA諸都市（31名）となっています。回答者の65%近くが経営幹部レベル、約35%が中間管理職またはそれ以下の役職でした。回答者が所属する企業は、製造業（157名）、流通業（143名）、電子商取引業（73名）、小売業（70名）、物流業（58名）およびその他幅広い業種にわたります。

広東省、香港・マカオ地区を一体化してGBAを構築するという構想に調査回答者は共感を覚えており、80%が地域全体の総合開発を支持すると回答しました。

最も支持が多かったのは深圳の企業で、85%が支持しています。次にマカオ地区（83%）、香港地区（80%）、広州（78%）が続きます。

さらに、回答者はこの構想によって生じる主なメリットとして、共同のシナジー効果の拡大、人材の自由移動および能力強化によるマーケットへの浸透を挙げています。GBAは今後10年以内に経済規模で日本の大東京圏と肩を並べる可能性があるとする回答者（37%）が考えています。サンフランシスコ・ベイ・エリア、グレーター・ニューヨークに対抗できると予想する回答者はやや少なく、それぞれ32%と28%にとどまりました。

GBAの競争力を最も高く評価しているのは香港の回答者です。10年以内にGBAが大東京圏と肩を並べると考える回答者が香港の事業者では全体の41%を占め、中国本土の事業者（同34%）より多くなっています。

この地域の開発で最も大きな恩恵を受けると考えられるセクターは、貿易・物流（68%）、金融サービス（62%）、革新的技術の研究開発（60%）です。

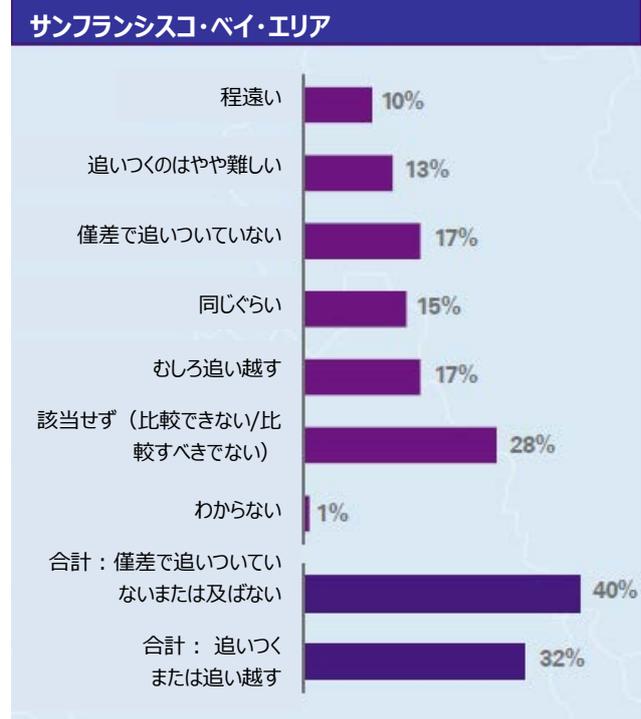
しかしながら、GBAがその野心的な目標を成し遂げるためには克服しなければならないいくつかの課題があります。調査対象者は、この地域の開発の最大の障害として、協力を阻害する保護主義などの政策方針を挙げました。GBAを構成する広東省、香港・マカオ地区の政府間・政府内のサイロ型組織を指摘する意見も同様に多く指摘されています。

一方で企業は、この地域が成功するための最も重要な要素は政府の支援で、次に重要なのが法による統治とインフラ支援だと考えています。したがって、政府の参画と関与の方法がGBAの未来を大きく左右するでしょう。

図1：広東省、香港・マカオ地区全体の総合開発に対する支持率



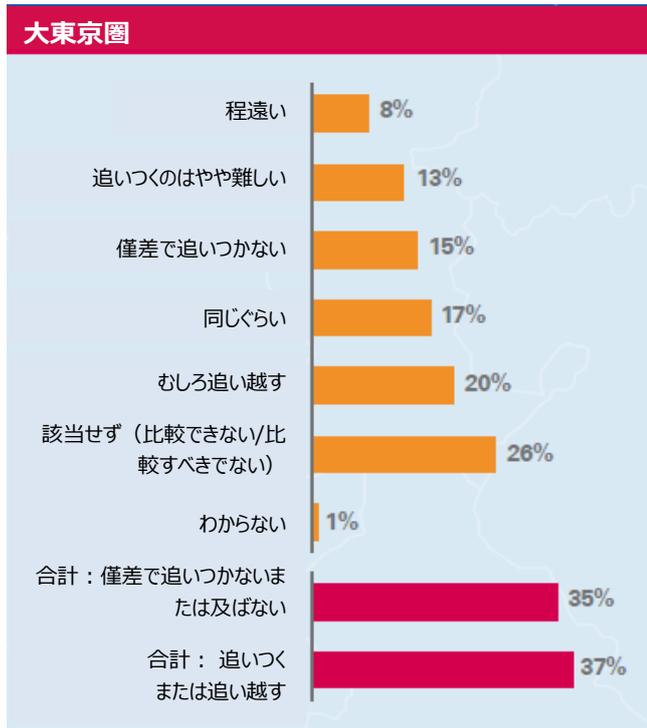
図2：10年後のGBAの競争力を以下のエリアと比較すると：



注：数字を丸めであるため、パーセンテージは合計しても100にはならない。

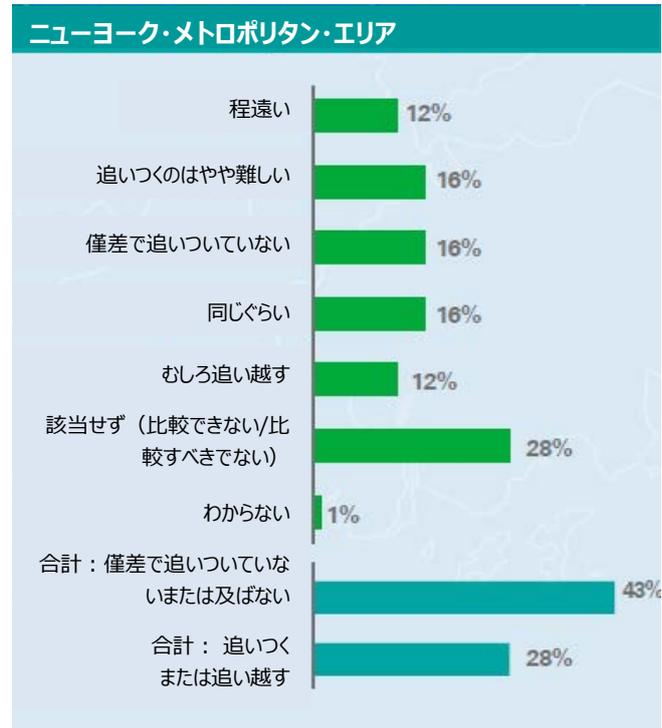
グレーターベイエリアの概要

「香港・マカオ地区と広東省の珠江デルタ地域における諸都市を一体化させ、サンフランシスコ・ベイ・エリア、グレーター・ニューヨーク、大東京圏と肩を並べる重要な経済圏を構築する」という GBA 構想の目標は野心的です。この構想を成功させるためには、関連するインフラ、政策、規制を全て整備し、人材と物資・サービスが域内を自由に行き来できるようにしなければなりません。



出所：KPMG と HKGCC の共同調査

注：数字を丸めてあるため、パーセンテージは合計しても 100 にはならない。



出所：KPMG と HKGCC の共同調査

注：数字を丸めてあるため、パーセンテージは合計しても 100 にはならない。

中国はこの数十年で農業国から製造大国へと変身しました。これは驚異的と言わざるをえません。そして現在は、サービス主導型経済へのさらなる大転換の真っただ中です。それが珠江デルタほど如実に現れている地域はありません。例えば、深圳は世界有数のハイテク・イノベーション・センターとなっています。

この地域は広東省と世界を結ぶサプライチェーン・ネットワークの中心でもあり、強力な製造基盤の活用が可能です。またもう 1 つ重要なことは、香港が世界に誇る金融・専門サービス産業もこの地域を同様に支えていることが挙げられます。

しかし、この地域がさらに成長するためには、金融、物資、人材面での協力を深化させる必要があります。そこで中国は、GBA の建設を推進するという決定を下しました。

この画期的構想の目的は、珠江デルタ地域の主要都市を一体化し、新たな大経済圏を築くことにあります。それは、大東京圏、サンフランシスコ・ベイ・エリア、グレーター・ニューヨークなどの都市集合体と肩を並べられる大経済圏です。

数字が示す可能性

GBA11 都市の総人口は約 6,700 万人で、人口 4,400 万人の世界最大の都市集合体である大東京圏を上回っています。GDP ではグレーター・ニューヨークの 1 兆 6,100 億ドル、大東京圏の 1 兆 7,800 億ドルには及ばないものの、GBA の総 GDP は 1 兆 3,400 億ドルに達しています。

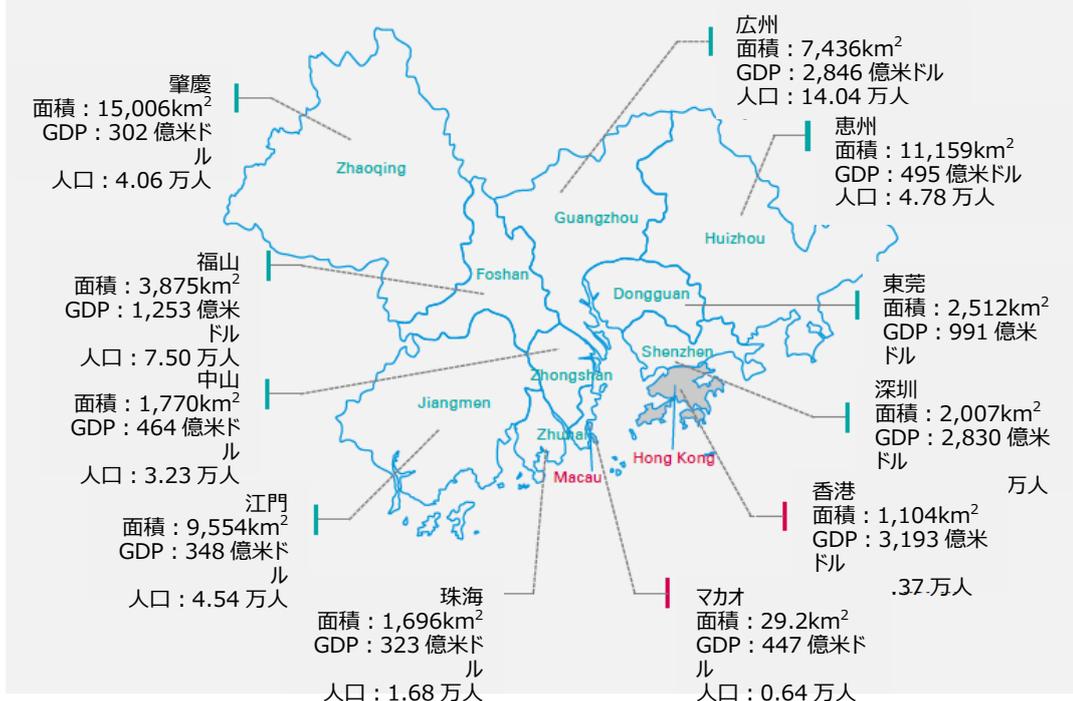
この地域で経済規模が最も大きいのは香港ですが、2位との差は僅差であり、香港のGDP（2016年は3,190億ドル）は近い将来、広州（2,850億ドル）と深圳（2,830億ドル）に抜かれる可能性が高いでしょう。

表 1：世界のバイエリア比較

	大東京圏	グレーター・ ニューヨーク	サンフランシスコ・ ベイエリア	GBA
人口（百万人）	43.5	23.4	7.2	66.7
1人あたりGDP（米ドル）	41,000	69,000	99,000	20,000
面積（千平方キロメートル）	36.8	17.4	17.9	56.0

出所：Fung Business Intelligence

図 3：GBAの都市比較



出所：Fung Business Intelligence（2016年現在のデータ）

ハイレベルな支援

GBA構想の歴史は、香港・マカオ地区、深圳、東莞、広州、珠海、中山の政府により共同で実施された「The Action Plan for the Bay Area of the Pearl River Estuary¹（珠江河口バイエリア・アクションプラン）」と呼ばれる2011年の調査に遡ります。華南に都市集合体をつくる構想は、2016年3月に第13次5カ年計画（2016～2020年）2が承認された時点で固まりました。その後、2017年3月の政府年次報告で、李克強総理は中国政府がこの構想を推進することを明らかにしました。

こうして、中国の最高政策策定機関である国家発展改革委員会（NDRC）と広東省、香港・マカオ地区の政府間で2017年7月に枠組協定3が結ばれました。

¹ http://www.epd.gov.hk/epd/english/resources_pub/policy/files/qla_consult_eng.pdf

² en.ndrc.gov.cn/newsrelease/201612/P020161207645765233498.pdf

³ <http://www.info.gov.hk/gia/general/201707/01/P2017070100409.htm>

© 2018 KPMG, a Hong Kong partnership and a member firm of the KPMG network of independent member firms affiliated with KPMG International Cooperative ("KPMG International"), a Swiss entity. © 2018 KPMG Advisory (China) Limited, a wholly foreign owned enterprise in China and a member firm of the KPMG network of independent member firms affiliated with KPMG International Cooperative ("KPMG International"), a Swiss entity. All rights reserved.

さらに、この地域は世界で最も効率的なサプライ・チェーンをすでにいくつか持っています。また、ここには英語と中国語が堪能な優秀な人材プールも存在します。

次なる段階

この地域の発展を成功させるためには、GBA 内で行政区の境界を越えた資金、人、物資・サービスの移動を活発化させることが欠かせません。GBA の諸都市は異なる関税徴収区域に属し、法制度も行政制度も異なるため、行政区の境界を越えた移動が活発化するかどうかは諸機関間の協力と取組みに大きくかかっています。

GBA 内の地方自治体に課された喫緊の課題への対応は、幅広いテーマでの協力が必要となります。これらの課題には、経済政策、環境・輸送問題、規制の調和が含まれます。

自治体の幹部はすでにこれらの分野で進展を図る道を探っています。一例としては、2015 年に設けられ、広州の南沙新区（60 平方キロメートル）、深圳の前海エリア（28 平方キロメートル）、珠海の横琴（28 平方キロメートル）にまたがって広がる広東省の自由貿易試験区が挙げられます。

続いて、2017 年 1 月には香港と深圳が協定を結び、落馬洲河套開発計画案を発表しました。香港と深圳の境界に位置する地区をイノベーション&テクノロジーパーク（港深創新・科技园）にする計画です。

さらに、珠海と香港・マカオ地区を結ぶ橋（港珠澳大橋）と高速鉄道が完成すれば陸路のアクセスが改善され、GBA 都市間の協力はますます深まるでしょう。これらのプロジェクトのほかにも多数の計画が予定されていることから、GBA は中国経済のさらなる開放に向けた大きな推進要因になるはずです。

今月号では野心的な GBA 構想の全体像を解説しました。来月号以降、その GBA 構想に対する個別の企業の知見・取り組みなどを紹介します。

（みずほチャイナマンスリー 2018 年 2 月号に掲載）

Contact us お問い合わせ先

KPMG 中国

GJP China Markets, パートナー

厚谷 禎一

Tel: +86(10)8508 7111 (日本語)

E-mail: teiichi.atsuya@kpmg.com